



HEY! 輪っしゅいふい

【発行】60周年記念2008年日本のうたごえ祭典 in 東京 実行委員会・広報宣伝
【事務所】〒169-0072 新宿区大久保2-16-36 東京のうたごえ協議会内電話 03-3200-4977
ホム4ハ-ジ http://utago60.main.jp/メール utago60@ky.main.jp

東京 「うたごえ新聞」(6/2) 1704人を達成!

第3回祭典実行委員会から 411人拡大!

6月2日(月) 第11回祭典運営委員会への報告で、地元東京は「うたごえ新聞」5月までの達成目標1700人を超えて達成しました。

昨年1月からの拡大総数はなんと409人、とりわけ今年に入ってから半年で約2000人を拡大しました。祭典まであと半年、「祭典までに20008人読者を」(あと3000人)の奮闘を紹介します。

5/18日第3回実行委員会後、プロジェクト会議、これから都内での集会やコンサートにピッタリの見本紙やニュースに工夫する。9条世界会議の感動が聞かれる参加者に呼びかける。と意志統一。この間大塚うたごえ酒場、出版労連の組合会議、合唱団北星、みなと合唱団、東京紫草、調剤合唱団から拡大報告。25日東京のうたごえオリジナルコンサートにて麦笛の団員2人ゲット。26日プロジェクト総行、加盟・未加盟すべてのサークル・合唱団に電話かけを実施、30団体より関心度・購読率などを聞き取り。横川さん手土産1人、太田、大熊地元へ電話して拡大。中合・上島さん研究生の同期会が拡大の報告。27日祭典運営委員会全員に「一人がひとりに広げれば17000達成」になるとよびかけた、すぐに鶴、大橋、武田、斉藤さんより拡大の報告。28日17000人読者まであと一桁！と運営委員メールマガジンを伝達、箕輪、エーちゃん、轟、大熊拡大。29日中野区保育争議報告集会以て、エーちゃん、屋形船までに達成しないと美味しい酒が飲めないぞ」と、三輪編集長とタッグで一挙5人拡大で見事17000人読者達成! 6月2日「あれ、もう達成しちゃたの?」山田さん、中澤さん、代々木病院パンブーから2人・・・現在17044人です。

昨年からトータルで	409人
2007.1 (昨年1月)	1295人
9.1 (第1回実行委員会)	1400人
07.12.1 (第2回実行委員会)	1426人
年末	1506人
2008.5 (第3回実行委員会)	1663人
6.2 (第11回運営委員会)	1704人

【この間の教訓】

まだ、すべてのサークルに「祭典までに20008人読者を」という事が周知されていない。特に指導者・伴奏者に読んでもらう事が大切。読者対象者が居ないわけではないのでモチベーションがあるように、声かけが大事。「今サークルは休眠状態だが、元読者だったメンバーから声をかけます」東久留米くんへ嬉しかった。

大音楽会 希求(ねがい)のチケットが発売になりました!

大音楽会 希求“ねがい”(有明コロシアム)

一般: 3500円

小・中・高校生・障がい者: 2000円



賛同金(97%達成)

東部・西部・南部・北部・千代田・港ブロックで目標達成!

東京の賛同金目標650万円

6/9 現在 626万円の達成!

新宿あと一息、三多摩、三多摩南、中央もう一歩、残り24万円

第3回祭典実行委員会100名参加

運営委員長・轟志保子

5月18日(日) 杉並区の方南会館で第3回目の祭典実行委員会が行われました。地元西部のうたごえの滝刺と「憲法ニコニコ音頭(踊りつき)」を「そうれっしゅやがやってきた(祭典バージョン)」の演奏で開幕。100人以上が参加した実行委員会となりました。

各音楽会企画もほぼ決定され、この日の実行委員会では「祭典曲を聴いてみよう、歌ってみよう」といくつかの歌が披露されました。「東京大空襲」のところで歌われる「タンポポの歌」、高齢者のうたごえ「老いも若きも」、作詞者・首都圏青年ユニオンのKAZUMIさんも参加して下さったの「ありがと」、大気汚染訴訟の中で生まれ、足立のうたごえを中心とした演奏が予定されている。小さな願い、今まで「どんな歌かな?」と思っていた人が多かったのです。小さく、聴いて納得、どれもいい曲だね!という声があちこちから上がりました。「老いも若きも」では、「後期高齢者医療制度撤廃の思い、10000人のうたごえで伝えます!」

歌の最後のポーズもばっちり決めますよ!」との日本シニア合唱団の方の指導で「エイ!エイ!」のポーズを全員で練習。盛り上がりました。続いて杉森企画委員長の指導で「青い空は」を練習。「ちようちよ、ちようちよ...」や「一番星みつけた!」の歌が挿入された編曲ですが、あつという間に歌えるようになり、この「青い空は」から「ねがい」へと続く、平和憲法の心を歌い上げる祭典フィナーレのイメージが鮮やかになりました。

もうひとつの重点は組織のとりくみです。東京は5月未達成目標の賛同金、80%まで追い込んでこの日の実行委員会を迎えました。「最初はとてつもない金額は無理、と思っただけで、こつこつとみんなで訴えたら大きく飛躍できた」と地区目標を2番目に達成した港区。「今日午前中に地区実行委員会を行って、それぞれの役割分担や組織の進め方を決めた」「三多摩地域などの報告が「やればできる!」とみんなを励ました。また地域・分野の実行委員会も多くのところで発足しています。「18のサークルが結集し、「祭典を成功させる会」として結成、10000人の地元スタイルを実現させます」という女性のうたごえ、「有明コロシアムの地元で、出演プログラムもいろいろある。広く呼びかけていきたい」という東部のうたごえなど、活発に発言が交流されました。

この日大音楽会一般チケットが発売となり、それぞれの地域が即持ち帰ってサークルへの配券が開始されました。歌って、交流して楽しく、「さあ、歌い手・チケット広めるぞ!」という雰囲気が出てきた第3回実行委員会でした。これからも楽しい実行委員会を続けて、東京80000人の目標達成に向けて元気に進んでいきたいと思えます。



杉森さんと「青い空は」

今こそ歌ってほしい

- いとし子よ - 小森 香子

この詩は、1980年8月16日「新婦人とうきょう」紙上にはじめて掲載された。

“この両手の重み それは地球の重さ この胸のぬくもり それは 愛……”この歌をうたう時、私の心の中には娘まどかの切り絵「母と子」が浮かんでくる。この年の春4月、数多くの切り絵作品を残して彼女は労山チョーオーユー登山隊の訓練中、雪の黒部谷に散った。「母と子」の絵は今も多くの人々に愛され、東京非核政府を求める会のホームページ・マークになったり絵はがきにもなって人々の心の中に在る。そして、この歌も原田義雄氏のあたたかい曲を得て愛され、NHKみんなのうた30周年記念作品の佳作にも選ばれている。あんなにも歌が好きで「うたごえ」の少年班で活躍した亡き娘も千の風となって歌って空に飛んでいるに違いない。

この詩は「青い空は」の延長線上にある。夏の少年少女キャンプでファイヤーを囲んで「青い空は」が歌われたとき、1年生の子が「いのちの重みってどんな重み？」ときいたそうだ。その子の母は膝に抱き上げて、「いのちの重みってあなたの重さ、そして地球上のみんなの重みよ」と答えた。その話をしてくれたのは「青い空は」の詩の選者でもあった児童文学者、山口勇子さんだった。「あなたの歌は、こんなふう」に歌われているのよ」と買ってくれた。

世界中の戦火を消そう。これ以上、子どもらを殺さないために、憲法9条を世界に輝かせよう。

そして全体合唱の「青い空は」で、やさしいうたごえで有明コロシアムを包みたく思います。

5月14日、東京及び近県の女性サークル18団体24名が参加し、現在の祭典企画や組織の取組み状況を報告された後、サークルでの取り組みなどを交流しました。そして、祭典成功のために60周年記念日本のうたごえ祭典女性のうたごえを成功させる会（略称は「成功させる会」）を立ち上げました。

歌う、曲は決めました。あとは1000人で歌いましょう！

「60周年記念日本のうたごえ祭典女性のうたごえを成功させる会」

川路紀美子



3月8日、国際女性デー女性のうたごえ 120名の演奏、指揮は福田由美子さん

演奏曲 「いとし子よ」「花」「青い空は」

新日本婦人の会会長の高田公子さんには祭典の呼び掛け人、同東京都本部会長の上伸子さんには「成功させる会」の呼び掛け人になって頂きました。呼びかけ文を作り地域に広げる活動を始めています。さらに女性各団体の皆さん、地域の女性の皆さんと大きく広く手を繋ぎ1000人の大合唱を実現させたいと思っています。

女性のうたごえの指揮者 辻 志朗さんを迎えて練習会は下記のとおり
6月12日(木) PM 18:30~20:30 文京男女平等センター
9月29日(月) PM 18:30~20:30 立川あいむ
11月8日(土) PM 18:30~20:30 四谷区民センター

勝利の力にうたごえも・・・

中野保育園争議勝利を確信に 祭典にこの勝利響かそう！



保育園民営化の中、中野区によって04年3月に非常勤保育士全員が不当解雇された事件は、東京都労働委員会における係争を含め、4年にわたって解雇撤回争議として闘われてきました。3月31日に東京都労働委員会において、申立人公共一般労組と中野区の間で斡旋和解が成立して、4人の原告が全員、4月1日に職場復帰をしました。

この間、うたごえでも「先生大好き」「闘いつつ、なにかの曲が生まれ応援をさせていただきました。5月29日、文京区民センターで勝利報告集会が開催され、これまで支援をしてきた労働組合、諸団体の人たちが約300人が集まってお祝いしました。

南部合唱団 東京のうたごえ、保育のうたごえなど45人が「人間のうた」「花をおくるう」「がんばろう」を熱唱！

東京のプレ企画・「屋形船・うたごえ交流会」

5月31日、東京墨田川の屋形船を使った、うたごえ交流会が開催されました。参加者は地元、東部のうたごえ関係者をはじめ、南部、中西部、三多摩南、三多摩と都内各地域から45人。「それうたごえ」関係者、参加する子どもたちのお父さんが3人、11月24日の大音楽会でのホルン奏者さんに、ネール首相役のソロさんも。



うたごえ新聞の「値打ち」を語る三輪編集長

★ 祭典記念グッズです

60周年記念 2008年日本のうたごえ祭典 東京 記念日本酒ポトル



東京の地酒 清酒 深き井「護丸」



音楽 平和 表現の自由 21巻入

東郷地蔵「金太郎」のど輪です。ニッキ味がたっぷりしています。

単価(720ml) 1500円売り
注文戴きました取り扱い団体には 200円の還元をいたします。

一袋 300円 21粒 税込)

5枚1組3パターンのデザインがあります

「ねがい」に5番が華になりました

「ねがい」は、アフリカの子ども達とつながる機会をいかにとらえることが大切だと感じています。子ども達も、泣いてばかりではなく、平和が欲しいと訴えています。 (2008年11月24日)

1組100円

第4回祭典実行委員会は(三多摩地域) 7月19日(土) 国立商工会館です

グッズ4弾！

陽気な(イエロー)タオルマフラー「うたお〜る」ができました！

10%還元します



LOVE PEACE SINGING VOICE OF JAPAN

1枚 1000円

08祭典歌集は6/19発売です